

# オリコン 2012年上半期映像ソフト市場レポート

集計対象期間：2012年1月2日～2012年7月1日（2012/1/16付～2012/7/9付）

※売上金額は、推定売上枚数に定価・希望小売価格（税込）を乗じて算出。原則として特販商品、輸入商品等は含まず



## 1. 概況

○映像ソフト総売上額1,248.9億円、対前年同期比92.8%

○「邦アニメ」のBlu-rayは調査開始以来最高の半期実績を記録

○DVD市場は2年連続二桁減に

○「邦楽」のBlu-rayが対前年同期比182.9%と大幅増

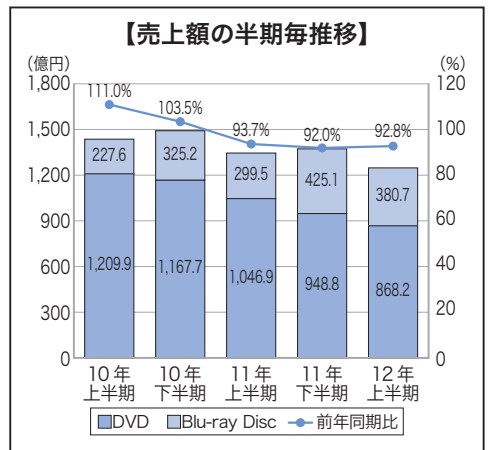
2012年上半期の映像ソフト市場は、総売上額1,248.9億円で対前年同期比92.8%。売上枚数は2,356.3万枚となり、対前年同期比は88.8%と、いずれも前年同期を下回る結果となった。

メディア別で見るとBlu-ray Disc（以下BD）の上半期市場規模は前年より81.2億円増加し、対前年同期比127.1%。売上額を380.7億円としたものの、映像ソフト市場全体の約7割を占めるDVDでは市場の縮小傾向が続いており、売上額は前年より178.7億円減少して868.2億円に。前年比17.1%減と2年連続二桁減となった。市場全体では売上枚数・金額ともに前年を割り込んだが、平均単価の下落が止まり、売上金額の前年比が売上枚数の前年比を4ポイント上回る結果となった。

DVD市場が対前年同期比82.9%と2年連続二桁減と縮小する中、期間内で38.6億円を売り上げた嵐を筆頭にEXILE、AKB48、関ジャニ∞のDVD作品が期間内10億円以上を売り上げた「邦楽」DVDは対前年同期比98.7%と健闘した。また、「邦アニメ」や「洋画」ジャンルを中心に進行してきたDVDからBDへの移行が他ジャンルへ広がりを見せ、B'z、EXILE、Mr.Children、関ジャニ∞のBD作品のヒットにより、「邦楽」BDが前年より22.5億円増加し、対前年同期比を182.9%とした。特に「音楽」部門においてDVDとBDの同日発売タイトルが増加しており、最も象徴的だったのがB'zで、発売週のBD売上がDVDを上回った（BD：3.5億円、DVD：3.3億円）。

『総天然色ウルトラQ～』などの「特撮」、「オペラ座の怪人25周年～」、「東京ディズニーシー マジカル 10 YEARS～」

など「カルチャー・教養」のBD商品が期間内1億円前後を売り上げ、これらをまとめた「その他」BDも対前年同期比286.5%と大きな伸びを示した。



また、BD市場の5割を占める「邦アニメ」

### 【2012年上半期 映像ソフト 市場全体売上】

	売上金額(百万円)	構成比	前年同期比
DVD	86,820.0	69.5%	82.9%
Blu-ray Disc	38,067.9	30.5%	127.1%
映像ソフト合計	124,887.8	100.0%	92.8%

では期間内20.8億円を売り上げた『Fate / Zero』のBD BOXや同7.1億円を売り上げた『機動戦士ガンダムUC 5』などのヒット作が相次ぎ、売上金額206.2億円、対前年同期比124.9%を示し、BDの調査開始（2008年9月）以来最高の半期実績を記録した。

しかし、市場のけん引役である映画部門のヒット作品不足により、「洋画」BDは対前年同期比101.3%、「邦画」は同73.3%とBDへの移行が進まず、「邦楽」、「その他」を除く全ジャンルでDVDの減少額がBDの増加額を上回り、その結果、市場全体が前年を下回る形となった。

## 2. メーカー別セールス動向

○「邦アニメ」の好調を原動力にソニー・ミュージックエンタテインメントが5年連続首位を維持

メーカー（発売元）別での売上額シェアでは2012年上半期もソニー・ミュージックエンタテインメントがそのシェアを前年より1.4ポイント上昇させて11.2%とし、売上額140億円で5年連続首位をキープした。傘下で「アニメ」を主力とするアニプレックスの『Fate / Zero』、『偽物語』第一巻／かれんビー』、『ペルソナ4』などの「邦アニメ」BD商品が好調で、同社は対前年同期比を124.0%とする100.8億円を売り上げ、ソニー・ミュージックエンタテインメント内でのシェアも前年同期の61.6%から72%に上昇した。

前年同期に3位だったエイベックス・グループ・ホールディングスはEXILE、Kis-My-Ft2のヒット作品により2位に、前年同期8位だったバンダイビジュアルは『機動戦士ガンダムUC』シリーズのヒットが拡大し、3位に上昇した。

### 【メーカー別売上表(売上金額順)】

順位	メーカー(発売元)	売上金額(百万円)	占有率	前年比
1	ソニー・ミュージックエンタテインメント	13,996.6	11.2%	106.0%
2	エイベックス・グループ・ホールディングス	9,155.6	7.3%	128.6%
3	バンダイビジュアル	6,541.9	5.2%	134.7%
4	ジェイ・ストーム	5,011.6	4.0%	45.5%
5	ワーナー・ホーム・ビデオ	4,659.0	3.7%	73.8%

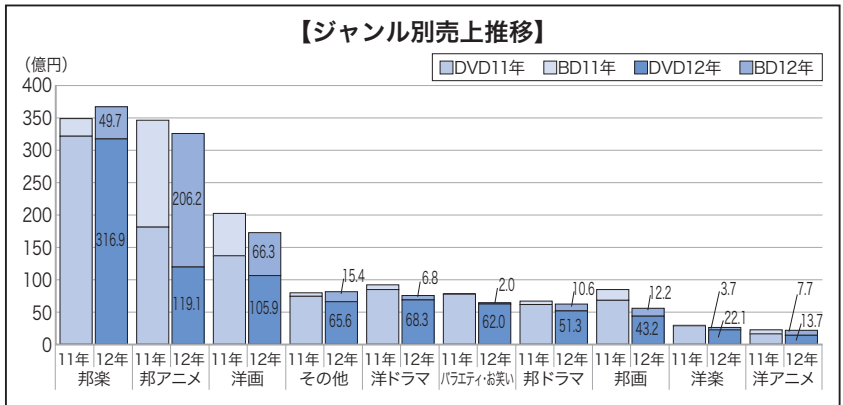
### 3. ジャンル別セールス動向

- ヒット作品不足により、映画部門が不振、「洋画」前年比14.7%減、「邦画」前年比34.3%減に
- DVD市場では「邦楽」が対前年同期比98.7%と健闘するも、全ジャンル前年比減
- BD市場では「邦画」、「洋ドラマ」を除く全ジャンルが前年比増

DVD市場では嵐、EXILE、AKB48、関ジャニ∞の作品が期間内10億円以上を売り上げた「邦楽」が対前年同期比98.7%と健闘したものの、他の全ジャンルにおいて対前年同期比二桁減となった。

また、B'z、EXILE、YUIなどのアーティストによるDVDとBDの同日発売タイトルが増加、売上内BDの割合も飛躍的に増加し、その結果「邦楽」BDの売上額は対前年同期比を約2倍とし、市場をけん引した。

BD市場では「邦画」、「洋ドラマ」を除く全ジャンルが前年比増を示した。2011年上半期に『踊る大捜査線 THE MOVIE 3』、『SPACE BATTLESHIP ヤマト』、『大奥く男女逆転』など1億円以上を売り上げたタイトルが5作もあった「邦画」が今期では『モテキ』の1作のみとなり、前年比26.7%減となった。また、2011年上半期ではチャン・グンソク主演のドラマ『美男くイケメン』です、『メリは外泊中』のヒットがあった「洋ドラマ」もヒット作品の不在により、対前年同期比6.6%減を示した。



一方、「洋画」はDVDからBDへの移行と人気シリーズ作品『ミッション：インポッシブル／ゴースト・プロトコル』、『ワイルド・スピード MEGA MAX』などのヒット作品はあったものの、前年同期間のヒット作品『ハリー・ポッターと死の秘宝 PART 1』に匹敵するヒット作品がなかったことを背景に、「洋画」BDは対前年同期比101.3%と微増するも、DVDが対前年同期比77.6%と大きく落ち込み、DVDとBDの合計では対前年同期比85.3%、172.2億円となった。

### 4. 販売チャネル別セールス動向

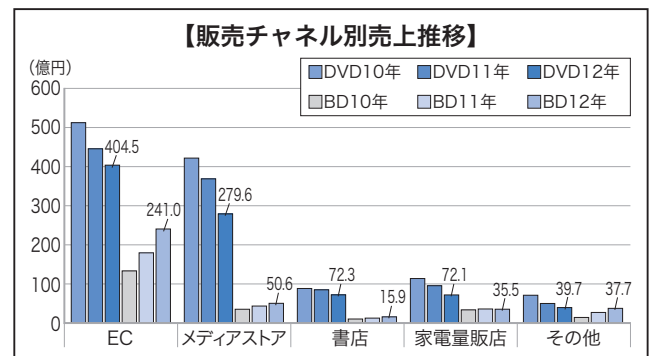
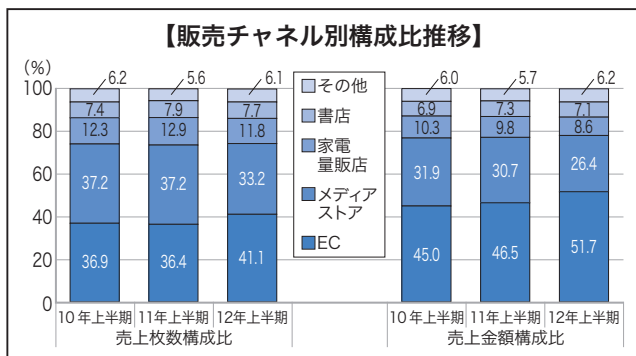
- ECの売上金額構成比は前年より5.2ポイント上昇し、51.7%に

映像ソフト市場全体における販売チャネル別の売上金額構成比では、EC51.7%、メディアストア26.4%、家電量販店7.1%、その他6.2%と、メディアストアなどのリアル店舗での売上縮小とECの拡大傾向が続いており、今期はその傾向が加速した形となった。

ECは売上額に占めるその構成比を着実に拡大しており、前年より5.2ポイント上昇し、51.7%と市場全体売上額の5割を超える形となった。ECでのDVD売上は404.5億円、対前

年同期比90.6%と減少したものの、BD売上は241億円、対前年同期比134%と大幅な伸びを示し、EC内でのBD構成比は37.3%にまで拡大した。

メディアストアでのDVD売上は前年より89.8億円減少して279.6億円となり、対前年同期比75.7%と大きく落ち込んだ。一方、BDは前年より7億円増加し、対前年同期比を116.0%としたが、DVDとBDの合計では対前年同期比79.9%となった。



## ●本レポートのデータについて

本レポートにおける市場規模等の各種データは、オリコンの各週間ランキング(シングル TOP200、国内盤アルバム TOP300、DVD TOP300、Blu-ray Disc TOP100)のデータを基本データとし、ランキング圏外のデータも勘案して、市場全体の売上枚数を推計したもの(特販商品、輸入商品等は含まず)。売上金額は売上枚数に定価・希望小売価格(税込)を乗じて算出。例外についてはデータごとに表記。

音楽・映像関連の各週間ランキングは音楽・映像ソフトを販売している全国約28,380店の調査協力店(CDショップ、レンタルや書籍などを扱う複合店、家電量販店、コンビニエンスストア、ジャンル専門店、インターネット通販)の店頭、イベント会場等での販売実績をもとに、全国の週間推定売上枚数を算出したもの。週間ランキングは毎週月曜から日曜までを集計対象としている。(2012年7月現在)

## ●“2012 年上半期”の集計対象期間： 2012 年1 月2 日～2012 年7 月1 日

より詳しいデータは  をご覧ください  
<http://biz.oricon.co.jp/>

音楽・映像・書籍、各業界の最新マーケット動向から詳細なランキングデータ、充実した検索機能を網羅！エンターテインメント業界に携わる方には必須の法人向けマーケティングデータベースサービスです。

市場動向の把握やトレンド分析、プロモーション戦略の立案など、現場の日常ツールとしてだけでなく、経営層の営業戦略ツールとしてもご利用いただいております。各種カスタマイズデータも承っておりますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

[info-biz@oricon.jp](mailto:info-biz@oricon.jp)

## 「ORICON エンタメ・マーケット白書2011」好評発売中！

2011年の音楽・映像・書籍、3カテゴリの詳細な市場動向データ、各種ランキング、ヒットピックスを集約した、エンタメ・ビジネス・マーケティングの必携ツール。全国の書店、インターネット通販などで販売しております。詳しくは下記をご覧ください。

<http://biz.oricon.co.jp/hakusho/>

発行所

オリコン・リサーチ株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木6-8-10STEP 六本木

TEL 03-6381-7959 FAX 03-5772-8600